

## 令和5年8月度栗東市教育委員会臨時会会議録

開催日時 令和5年8月22日(火) 15:00～16:45  
開催場所 危機管理センター3階 大研修室  
出席委員 教 育 長 安土 憲彦  
教育長職務代理人 田中 和子  
委 員 内記 一彦  
委 員 朽木 徳壽  
委 員 太田 加代子  
事務局出席者 教育部長(小林)、教育総務課長(大角)、学校教育課長(高野)、学校教育課参事(安岡) 学校教育課課長補佐(橋本)、書記(小林)

会議を傍聴した者 一般傍聴者 5人 市政記者等の傍聴者 0人

開会宣言 15:00

教育長

定刻になりました。令和5年8月度 栗東市教育委員会臨時会を始めるにあたりまして、本日は、傍聴の申し出が5名ありましたので、栗東市教育委員会傍聴人規則第2条により、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入場)

教育長

皆様、こんにちは。傍聴人は、注意事項を遵守いただくようお願いします。なお、注意事項に違反したときは、退場を命じることがありますので、よろしく願いいたします。

ただ今より令和5年8月度 栗東市教育委員会臨時会を開会します。日程に従いまして、進めさせていただきます。

日程2 議案第8号「令和6年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」事務局より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第8号「令和6年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」を説明申しあげます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになって

おります。

資料2をご覧ください。

1ページ～2ページには、本市が所属する、教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用される教科用図書が選定されます。3ページが本年度の協議会委員の皆様です。

次に本日議決を求めることならびに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明いたします。4ページが今年度の経緯となっております。

本年度は、小学校用教科書全教科の採択替えの年であります。また、小中学校「特別支援学級一般図書」の採択替えも行います。現在までに、協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催しました。併せて、5月29日から7月10日にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月31日ならびに8月3日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月3日には第二採択地区としての議決を行いました。

中学校の教科用図書については、文部科学省、滋賀県教育委員会からは、「4年間の使用実績を踏まえつつ、令和2年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えること」との指導を受けていますので、令和3年度から令和6年度までの4年間、同じ教科用図書を使用することになっていることから、来年度も今年度と同じ教科用図書です。中学校教科用図書につきましては、来年度が大規模採択となります。

資料1をご覧ください。

小学校は、資料1の2～3ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。4～7ページは、特別支援学級で使用する一覧です。特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用については、社会科において『はじめての日本れきしえほん』、外国語科において『CDつき 楽しく歌える英語のうた』の2冊が新たに選定されました。

続いて、中学校は、8～9ページが通常学級で使用するものの一覧と理由です。

中学校 特別支援学級の一覧は、10～12ページです。知的障害学級用については、社会科において『楽しく学んで力がつく！こども世界地図』、『はじめての日本のれきしえほん』、理科において『科学のなぜ？新図鑑』の3冊が新たに選定されました。

なお、弱視学級については、小中学校とも、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

続いて資料3をご覧ください。

特別支援学級用を除く教科については、教科ごとの調査研究観点と各発行者の調査研究結果を記載しています。

教科ごとの調査研究観点は、滋賀県教科用図書選定審議会から示された観点を参考に設定

しています。さらに、第二採択地区の独自観点として、情報機器などを使用した学習も想定し、「小学校全教科」において、「デジタルコンテンツについて」を追記しました。また、前回に引き続き「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」などの現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか、ユニバーサルデザインの視点や分量、図書の重さや大きさにも留意し、調査が行われています。各発行者の調査研究結果は、その教科書の特色を幅広く記載しています。それぞれ選定の資料としてご参照いただきますようお願いいたします。

教育長

議案第8号について事務局より説明がありました。

それでは、協議会において、各教科調査委員長より報告されました調査結果の概要について担当より説明をお願いしますが、各教科の説明を聞いた後、教科毎に質疑を行います。それでよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

教育長

事務局の方はそれで構いませんか。

学校教育課長

結構です。

学校教育課課長補佐

それでは、協議会にて調査委員会から報告されました教科用図書の調査委員会報告について、ご説明申しあげます。

まずは、国語でございます。資料3の1ページからをご覧ください。

各社の特徴的な研究結果を申しあげ、その後、採択候補となるべき教科書をあげさせていただきます。3ページからをご覧ください。

まず、最初に「東京書籍」です。

この教科書の特徴は、物語文、説明文がバランスよく配置され、その内容が充実しているところにあります。学ぶ観点が、「言葉の力」としてわかりやすく揭示されていることも特徴の一つです。単元末には、子どもたちの学習意欲が高まる言語活動が充実する内容となっていました。第2地区観点の現代的な諸課題についても、バランスよく取り上げられておりますが、どの学年も情報量や問題数などが多く、児童にとってすべてを消化できないこともあるのではないかと懸念があります。

次に「光村図書」です。

この教科書の特徴は、教材の扉絵に書かれているめあてや既習内容、リード文が簡潔なため、子どもたちが多すぎる情報を持たずに作品と出会うことができることです。教科書の巻末には、国語の学習用語が掲載されており、既習の知識・技能を活用したり、思考を深めたりする時に便利でもあります。単元指導における学習活動が明確であり、年間指導の中でも当該学年の系統立てた学びを明示してありました。

次に「教育出版」です。

この教科書の特徴は、6年間で子どもが身につけるべき言葉の力が「ここが大事」などで整理され、系統化されて示されているところです。また、子どもが主体的・対話的に学び、言葉の力を伸ばすことができるような言語活動が手引きなどに具体的に示されているところです。しかしながら、全体的にデジタル教材の取り扱いについて情報量が少ないように感じました。

調査をもとに協議した結果、国語は「光村図書」に決定しました。

光村図書は、先ほどの説明に加え、「読む」「書く」「話す・聞く」の構成が、各学年で統一されており、教材内容も学年に応じたもので、全体としてバランスがとれていると考えられます。子どもたちの学校行事や実生活につながる言語活動が多く、各単元での内容項目のポイントが明確に示されています。その達成のために教師が工夫する余地が残されており、子どもの理解の様子などを見ながら、適宜発問等を組み替えることができる構成になっており、「光村図書」発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

教育長

では、「国語」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

太田委員

教科書にQRコードがついていますが、採択の際にはどのような視点で、協議されたのか教えていただきたいです。

学校教育課課長補佐

どの教科書会社もデジタルコンテンツが掲載されております。東京書籍は、デジタルコンテンツの量が多く、情報量を多く示すことが児童の学びに必要なかどうか、話題にあがっていたようです。また、教育出版は、動画や資料が少なく、子どもたちの学びに有効で情報量が適切であったのは光村図書だったようです。

内記委員

他にも光村図書が適している点がありますか。

学校教育課課長補佐

単元学習の学び方を示す中で、「問いをもとう」と学習課題を明確にしており、単元を通

して導入から出口に至る過程で「問い」を基に主体的な学びにつながる構成になっています。また、当該学年の系統立てた学びが明示されており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている点です。

教育長

ほかに国語についての質問はよろしいでしょうか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 国語の選定について、「光村図書」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「書写」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

つぎに、書写につきまして、9ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

この教科書の特徴としては、左右の払いなど、1ページに点画を比較的に取り上げ、その違いを考えさせたり、話し合い活動を取り入れたりして、主体的な学習が展開できるように工夫されています。また、左利き、右利き両方の鉛筆の持ち方を示す実物大写真が掲載されていたり、写真やイラストに登場する人物の着衣について、男女の固定概念にとらわれない色や形にしたりするなど、ユニバーサルデザインや多様性について強く意識した内容となっている点も特徴です。

次に、「教育出版」です。

この教科書の特徴としましては、字形や筆順・運筆に関する留意点や学習者への問いかけなどが丁寧に記述されていることです。また、学習のはじめに「ためし書き」、終わりに「まとめ書き」として教科書に鉛筆で直接書き込む学習活動を設定していて、振り返りを重視するとともに、毛筆の学習を硬筆に生かせるような内容となっています。

次に、「光村図書」です。

調査研究観点のすべてにおいて精度が高いものでした。

手本の文字は、均整がとれていて美しい文字になっています。この会社の特徴としましては、学習のねらいを焦点化し、その学習に必要な情報を効果的に示すことで書写の力を育成できるところにあります。カラーユニバーサルやユニバーサルデザインの面からも細かな配慮がなされています。また、児童の興味関心や学習意欲を高め、見識を広げる工夫が充実している点にも特徴があります。

調査をもとに協議した結果、書写は「光村図書」に決定しました。

光村図書は、先ほどの説明に加え、書写で大切にしている点画のつながりいわゆる「気脈」の表記が、厳選して示されており、理解しやすいと考えられます。また、学習のねらいを焦点化し、その達成のために効果的な手立てを講じているため、「光村図書」が選定されています。

教育長

では、「書写」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中教育長職務代理者

光村図書は、学習のねらいが焦点化されているとのことですが、具体的にはどのような工夫がされているのでしょうか。

学校教育課課長補佐

書写の時間には、それぞれ「はね」、「はらい」「筆順」や「字形」のように、毎時間のねらいがあります。光村図書はこうした指導内容につながる部分を強調して表示されています。色が薄い表記や関連情報が掲載されている他社に比べると、情報量も精選されており、子どもたちの書写の力を着実に育成することが可能であると考察されます。

教育長

他にご質問等はありませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 書写の選定について、「光村図書」でご異議はありませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「社会」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

社会につきまして、15ページからをご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まずは、「東京書籍」です。

この教科書は、重さも最も軽く、登下校・持ち運びには適していると考えられます。特に、5・6年の教科書は分冊になっており、さらに軽い反面、社会事象の相互の関連を多角的に考えるには不向きであると言えます。また、児童に人気のキャラクターが注目ポイントを示

すことで、学習に対する意欲を高めることにつながるとともに、導入時の写真は非常にインパクトがあり、鮮明な写真やイラストはとても見やすいのが特徴です。

次に、「教育出版」です。

この教科書は、3社中最も重く、ページ数も多いです。主に中学年で学ぶ様々な職業について、女性の社会参画が伺える写真が多く掲載されていました。ただ、他社に比べて写真やイラストの印刷がややくすんだ感じが伺えます。また、印刷の濃度が高いため全体的に読みづらいのではないかと懸念されます。教材については、児童の興味をひく題材を用いており、意欲的に学習に向かえることが予想されます。補助犬やハンセン病について触れているのも特徴でもあります。課題は、選択教材の情報量の少なさと、資料の印刷具合は、社会科では必要などころでもあります。

次に、「日本文教出版」です。

この教科書の特徴は、社会科学習において大切な資料である写真やイラストが鮮明で、読み取りやすくなっています。豊富な情報量である一方で文字が小さくて読み取りにくいページも中にはあります。特に、3年生では湖南広域消防局中消防署や大宝東小学校が14ページにわたって取り上げられており、身近に感じながら学習を進めることができます。ほかにも、彦根市子ども議会、雨森芳洲や大津京、琵琶湖のよしといった身近な事例が多数記載されており、郷土に誇りをもって学ぶことができると考えます。二次元コードも圧倒的に多く、学習の一助になっており、総合すると、非常に高い評価となりました。

調査をもとに協議した結果、社会は「日本文教出版」に決定しました。

構成の使いやすさ、デジタルコンテンツのいずれにおいても高い評価となりました。特に、SDGsについての学びやデジタルコンテンツによる授業展開への広まりが可能となる点が特徴といえます。

教育長

では、「社会」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木委員

東京書籍が、分冊になっているのは、どのようなデメリットがあるのですか。

学校教育課課長補佐

東京書籍のみ、歴史分野で1冊、政治・国際社会関係で1冊となっています。現在、年間指導計画では、4月に政治について学び、その後、歴史分野を学びます。歴史分野の後で、国際社会等について学ぶため、教科書の順番ではなくなり、子どもたちも見通しを持ちにくいと考えます。また、政治や国際社会との関連で歴史とつなげて見るのが難しくなるため、合冊になっている方がよいと思われます。

内記委員

SDGsについては、どのように取り上げられていますか。

学校教育課課長補佐

採択されました日本文教出版では、各単元末に「未来につなげる～わたしたちのSDGs」のコーナーがあり、自分たちの住んでいる社会生活を理解させ、よりよい社会を考え生かそうとする態度を育成するために適しています。

教育長

他にご質問等はありませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 社会の選定について、「日本文教出版」でご異議はありませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「地図」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

地図につきまして、22ページからをご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

紙面の各所に二次元コードを設け、当該ページの地図などに関連した白地図クイズ、ドローン動画などの多様なデジタルコンテンツを活用できるようになっております。100万分の1の滋賀県地図には、本採択地区5市が掲載されています。また、50万分の1の滋賀県地図には、6市に加え旧町名も記載されております。国名や大陸、海洋名に欧文表記が併記されていたり、世界の料理や動物、民族衣装などが写真や図で表記されていたりしており、児童が世界に興味関心を持ちやすくなっています。しかし、資料については過去の数値を採用しているところや、表やグラフの色合いが濃く多くの情報が目に入りすぎるところなど、課題もありました。

つぎに、「帝国書院」です。

地図活用の技能を生かせるように、地図の概念から、方位や地図記号、さくいんなどの地図の使い方まで、巻頭14ページにわたり、スモールステップで丁寧に解説し、地図を活用する力を身につけられるようになっています。また、地図の彩色も立体感を感じられるものとなっています、SDGsに関連する写真や図表を全編通して設けているのも特徴といえます。



調査をもとに協議した結果、地図は「帝国書院」に決定しました。  
地図についての課題も帝国書院の方が豊富で、最新資料や地図の見やすさからも「帝国書院」が適していると審議されました。

教育長

では、「地図」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木委員

地図であっても、資料を使うことが多いのですか。

学校教育課課長補佐

特に、地図を初めて学ぶ3年生が親しみをもって学習に向き合えるような資料は大切です。採択されました「帝国書院」の巻頭には、方位や地図記号、縮尺などについての解説があり、子どもたちが、地図に興味をもつことに有効であると思われます。

また、帝国書院は、統計資料のデータも豊富で、様々な角度から各県の特徴を捉えることができると考えられます。

田中教育長職務代理者

社会科で場所を確認するだけでなく、いろいろと関連させて活用できるということでしょうか。

学校教育課課長補佐

はい。帝国書院は、江戸時代の街道と現在を比較できる地図が記載されています。歴史分野の学習にも地図を活用することがあります。

教育長

他にご質問等はありませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 地図の選定について、「帝国書院」でご異議はありませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「算数」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

算数につきまして、26ページからをご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

単元の導入場面では、これから学習する内容を「問い」として示し、段階的に学びが深められるよう、筋道を立てて考えやすく工夫されています。デジタルコンテンツについては、一部の単元の導入で課題意識をもたせる動画があったり、練習問題の答え合わせ機能を備えていたりするなど、コンテンツが充実していて、操作性もよいです。また、一年生の入門期用の一回り大きく、中綴じで書き込みや教科書上でブロック操作が行いやすい特別仕様の教科書が用意されています。しかし、計算領域の学習では、学習のめあてが変わらず、1時間ごとのポイントがつかみにくい点が課題としてあります。また、文字の配置やフォントの大きさなど、小さめの字が並ぶところがあり、子どもたちによっては、集中のしにくさや読み取りにくさにつながることはないか、気になる場所でした。

次に、「大日本図書」です。

まとめや公式、性質を説明する言葉が詳しく、丁寧に書かれていたり、数学的な見方・考え方が意識できるようになっていたりします。デジタルコンテンツが豊富で、全学年の内容や主問題について、動画やアニメーションで確認できるようにもなっているなど、紙面とは別のアプローチで学習の理解を深めたり技能を定着させたりできるようになっています。写真、イラストがバランスよく配置されており、登場人物が様々な立場の多様性を認めている内容になっており、SDGsを扱った問題も掲載されています。

次は、「学校図書」です。

単元末や巻末には学習した順に問題が配置され、自分で考え方の説明を書く活動があり、思考・判断・表現力の育成が図れるようになっています。数学的な見方や考え方の視点を「考えモンスター」というキャラクター化によりパターン化して示すことで、児童が楽しみながら単元の要点や、よくある間違いを確かめることができます。しかし、学年が上がるにつれて、自分の考えを表現したり、説明したりする学習活動を取り上げている場面が少なくなっています。デジタルコンテンツがやや使いにくく、コンテンツ数も他社と比べると半分程度と極端に少ないです。

次に、「教育出版」です。

基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるために、適量な問題が配置されています。練習問題では、個の進度や習熟度に合わせた使い方ができるようになっています。吹き出しの言葉の中に、疑問や数学的な見方や考え方が示されており、思考を整理していけるように工夫されています。しかし、「めあて」「まとめ」の明示がなく、学習のポイントが把握しにくい点や協働的な学び、深い学びにつながりにくい点が気になります。使用する機器によっては、デジタルコンテンツの使いにくさも見られました。

次に、「啓林館」です。

すべての単元に学習レディネスを高めるページ設定があり、既習内容を踏まえた知識・技能

を身につけられます。「めあて」と「まとめ」が対応されていてわかりやすく、すっきりと短い言葉で、公式や特性など基本的なことがまとめられています。デジタルコンテンツには、主問題に解説動画がついており、学び直しや学習準備など、家庭学習でも使いやすくなっています。課題としては、低学年では、自ら問いや見通しを立て、主体的・協働的によりよい解決に向かうことができる問題が設定されている反面、中・高学年は、そうした設定が少なくなります。また、日常生活と関連させる内容の扱いが少なく、単元末に説明したり、考えを表現したりする問題も少なめです。

次に、「日本文教出版」です。

「めあて」と「まとめ」が対応していてわかりやすく、学習のまとめと性質の違いもはっきりとしめされているため、学習の定着が図りやすくなっています。話し合ったり、考えたりする問題が多く設定されていて、段階的に学習が進められるようになっているため、見通しをもって学習が進められるようになっています。

1年生の入門期は、別冊使用となっていますが、ブロックを置くには紙面が小さく、折り込みは使いにくいと思われます。また、SDGsを扱った問題やデジタルコンテンツ数も他社と比べやや少ないです。

調査をもとに協議した結果、算数は「大日本図書」に決定しました。

基礎的な理解や技能の習得と思考・判断・表現力を養い、学びに向かう力を涵養するうえで、適切な教科書といえます。

教育長

では、「算数」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

太田委員

デジタルコンテンツの使いにくさは、どのような使いにくさがあるのか教えてください。

学校教育課課長補佐

読み取った時に、クロムブックでは、画面に1ページが収まりきらないものがあり、使いにくさが見られました。

朽木委員

1年生の分冊は、あった方がよいのですか。

学校教育課課長補佐

調査委員会では、薄型の別冊は、従来の教科書よりも、おはじきやブロックを直接置いたり、書き込みができたりする点で、使いやすいと評判が良かったそうです。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 算数の選定について、「大日本図書」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「理科」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

理科につきまして、34ページからをご覧ください。

各社の特徴について、調査した結果を報告させていただくのですが、はじめに「信州教育出版」についてお知らせします。「信州教育出版」は、地元である長野県内での採択をねらって作成されたものであり、見本本の配本がされませんでしたので、調査できませんでした。ですので、信州教育出版をのぞく5社の調査結果について報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

身近な自然やくらしから問題を見だし、主体的・対話的な学びによって、科学的な見方や考え方を生かして解決できるように構成されています。また、児童の疑問、気づいたこと、考えたことを交流する場面で発表や話し合いを促し、学習中の気づきをもとに児童の意見や考えの交流が深まるよう工夫されています。ユニバーサルデザインの視点からも配慮がなされており、全体的に文字が大きく読みやすく、サイズはA4版と少し大きいながらも、軽量化されています。どの学習場面でもコンテンツを活用して児童の理解を深める工夫がなされており、SDGsや防災といった今日的課題に対する意識が高まるコラムも充実しています。

次に、「大日本図書」です。

この教科書は、子どもたちが自ら調べ、対話的な学びを通して理科のおもしろさを実感し、生活に生きるように編集されています。考察場面において、話し合いを促す記述が多く、交流により学びが深まるように工夫されています。しかし、反面、考察場面において、交流することが学習のめあてであると捉えてしまうことが懸念されます。ダイナミックな写真や構図で児童の興味・関心を引き付けるように工夫されており、デジタルコンテンツも豊富です。

続いて、「学校図書」です。

問題解決の各場面では、リード文や写真、イラストなどを用いて児童の考えを引き出すよう工夫されています。しかし、問題の文言は、実験結果やまとめに直結するような内容が多く、児童の意欲を引き出しにくいとも言えます。また、「伝える・聞く」という場面を設定し、話し合いや発表の留意点など雛型を示し、対話を通して学びを深められるよう工夫されています。しかし、問題解決の過程で児童の交流を促す記述は少ないのが残念です。コラムは、日

常生活の身近な現象に関する発展的な内容が掲載され、科学的なものの見方・考え方を広げる工夫がなされています。

次に、「教育出版」です。

単元ごとに、「結論」までの問題解決の過程が1本のカラーの線につながれており、問題解決の流れがわかるように示されています。「結論」は、箇条書きで簡潔に示されており、補足的な説明があります。しかし、見開きの大きな写真がほとんどなく、写真が1枚も入っていないページもあります。コラムは知識を広げる内容多く掲載されていますが、日常生活につながる内容が少ないのが残念です。使われているキャラクターは、性別による偏りはないように配慮されていますが、多様な立場の人への配慮があまり見られません。

次に、「啓林館」です。

この教科書の特徴は、単元ごとに「問題」の答えが「まとめ」と対応し、問題解決の過程を踏まえて記述されています。また、「まとめノート」のページを設け、文や図、表などを活用したノートのまとめ方を例示しています。学習活動の見だしや予想、考察場面においてキャラクターの吹き出しなどで自然事象相互の関係や共通点、相違点について示すことで、児童が理科の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されていますが、話し合い、交流を促す記述としては少ないです。ユニバーサルデザインの視点から配慮がなされたフォントやカラーとなっており、多様な立場の人の写真やイラストをバランス良く配置し、適切な配慮がなされています。ただ、ページ数に対して写真が少ない点は残念です。

調査をもとに協議した結果、理科は「東京書籍」に決定しました。

児童・教員の理科離れが進んでいる昨今、児童が科学的な見方や考え方を働かせて主体的に学べるような構成であり、理科が専門ではない教員にとっても使いやすく最も適切な教科書として決定しました。

## 教育長

では、「理科」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

## 田中教育長職務代理者

理科は特に、写真や動画などは、子どもたちの興味関心を高めるのに大変有効だと考えます。その点ではどのような協議がされましたか。

## 学校教育課課長補佐

教科書の写真やデジタルコンテンツの動画は、子どもたちの理科に対する興味関心を高めるのに、とても有効であると思われます。ですので、調査委員会においても、写真の使われ方やデジタルコンテンツの内容や使いやすさ等は、重要なポイントの一つとして協議されました。

採択されました「東京書籍」は、5社の中で一番、デジタルコンテンツが豊富で、画面上で操作したり書き込んだりできるコンテンツもあり活用しやすく、児童の興味関心を引くも

のでした。

内記委員

理科はこれまで使用していた教科書と変わったと思いますが、特に「東京書籍」の決め手となったところはどこですか。

学校教育課課長補佐

各学年で重点的に育成を目指す「問題解決の力」に関わる場面において、児童が対話するイラストを用いるなど、対話を通して思考を深められるよう工夫されています。また、「まとめ」が箇条書きでわかりやすく表示されている点や、先ほどの話題にもありました写真やデジタルコンテンツの内容や使いやすさ、教科書の軽さ等、全体的なバランスがよく「東京書籍」に決まりました。

教育長

他にご質問等はございませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 理科の選定について、「東京書籍」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

ではここで、10分間の休憩を入れさせていただきたいと思います。

その間を利用して、委員の皆様には、後ほど説明があります特別支援学級の一般図書をご覧いただきたく存じます。

15時55分より再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

(休憩・閲覧)

教育長

それでは、時間になりましたので再開いたします。事務局より「生活」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

生活につきまして、42ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。44ページをご覧ください。

まずは、「東京書籍」です。

指導要領で示された3観点のいずれにおいても工夫されています。鮮明な写真や図はとても見やすく、学びを家庭での活動につなげる工夫も多くあり、表現のバリエーションも豊富です。また、デジタル情報もNHK for school 動画も含め多岐にわたっています。また、多様な他者とかかわる活動が写真を含め、多く掲載されており、総合すると最も高い評価となる結果となりました。

次に、「大日本図書」です。

この教科書の特徴は、社会や自然との関わりへの気づきを促す工夫がなされ、デジタルコンテンツも豊富です。また、多様な人権への配慮が見られる部分では、評価が高かったです。課題は、思考を促すための提示が多く、幅を持たせて指導できる反面、提示された情報量が多すぎるくらいがあり、思考を促す工夫がかなり必要となります。

次に、「学校図書」です。

生活上の約束、防災・安全指導の資料などが豊富で、児童の実生活に即した内容が多く紹介されています。また、写真とイラストを併用し、わかりやすく学べるよう工夫されています。一方、多様な人との関わり合いにかかる表現が他社に比べて少なめでした。

次に、「教育出版」です。

この教科書は、キャラクター「いぐら」が全編を通して多様な気づきや疑問をつぶやいており、自分たちの生活との比較しやすく考えやすい構成となっております。また、児童の興味を引き出し学習に臨んだり、自分で計画書を作ったりするなどゴールを意識し、見通しをもって学習する力をつける仕掛けがありました。

次に、「光村図書」です。

「よしたけさんコーナー」など多様な考え、発想を肯定するつくりとなっております。児童に安心感をもたらす効果がありました。また、バリアフリーの観点での記述が明確にありました。デジタルコンテンツについては、他社と比較し、非常に情報が絞られていました。

最後に、「啓林館」です。

指導要領に示されている3観点のいずれにおいても工夫や配慮がみられ、高い評価結果となりました。特に季節の行事を大切に扱っているのが特徴的でもありました。また環境問題や食料問題等も取り上げ、自分自身の工夫がどう関係するのかについて多くの情報が取り上げられていました。

調査をもとに協議した結果、生活は「東京書籍」に決定しました。

指導要領にかかる3観点を育成するための構成や第二採択地区独自観点においても、持続可能な社会の担い手を育むための資料が多く掲載されておりましたので、「東京書籍」に決まりました。

教育長

では、「生活」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

太田委員

前回、東京書籍は、教科書のサイズも大きくて子どもたちの教室の引き出しに入らないとの指摘がありました。

学校教育課課長補佐

その点についても、今回は教科書のサイズも改善されていまして、問題ないと思われます。

田中教育長職務代理者

生活科は、1・2年生が使用する教科書という意味で、どのような配慮されていますか。

学校教育課課長補佐

見開き1ページを使った大きな写真やイラストで、活動や学びのゴールをイメージしやすい構成であること。また、イラストの色あいが淡く、刺激を少なくする配慮が感じられたもの。また、振り返りや記録カードが大きく示され、解説も丁寧なもの等、低学年の子どもたちの主体的な活動を促す工夫が評価され、「東京書籍」が選ばれました。

教育長

生活についての質疑は、以上とさせていただきます。

それでは、令和6年度使用教科用図書 生活の選定について、「東京書籍」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「音楽」の説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

音楽につきまして、52ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「教育出版」です。

この教科書の特徴は、発達段階に応じて、体を使った表現を多く取り入れたり、多様な曲を取り扱ったりすることで、楽器の音色や拍の違いに注目させやすくなっています。また、取り扱う楽曲が多く、音楽をたっぷり味わいながら多角的に音楽を形づくる要素やしぐみについて理解しやすいようになっております。発達段階に応じて、学習活動の中で実感を伴って意味が理解できるように工夫された活動や楽曲がありますが、知識理解において曲や活動の



難易度が高いものが含まれ、段階を追って身につけていくことにやや難しさを感じます。鍵盤ハーモニカと教科書の鍵盤の写真とがぴたりと合い、音が確認しやすいですが、楽譜はやや小さく感じられるところがあります。

次に、「教育芸術社」です。

この教科書の特徴は、発達段階に応じて、題材や教材が系統的に配列され、知識理解においては各学年にバランスよく配置され、題材や教材と的確に関連付けて身につけられるように構成されています。全学年において歌唱・器楽で扱う楽曲は四分音符（休符）・八分音符（休符）が中心に扱われており、表現の技能を高めるのに適しています。「共通事項」の内容についても、鑑賞の各活動と一体となっており、適切に扱われていました。デジタルコンテンツにおいては、音や旋律を選べたり、速度や音色を変えたりすることができ、児童が試行錯誤しながら主体的に音楽をつくることのできるための配慮がされていました。

調査をもとに協議した結果、音楽は「教育芸術社」に決定しました。

特に、「教育芸術社」は学習指導要領の目標及び内容に即し、発達段階に適した学習活動を実現するための学習活動が数多くみられ、各学年にバランスよく配置されていました。こうした点からも、「教育芸術社」に決まりました。

教育長

では、「音楽」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木委員

音楽は、楽しく楽曲に親しむことが一番だと思いますが、子どもたちの学びにつながるために、どのような視点で調査されましたか。

学校教育課課長補佐

「教育出版」の教科書は、音楽を楽しんで学ぶ仕組みがたくさん見られたのですが、「教育芸術社」は学習の流れ（指導事項）がわかりやすく、子どもたちが見通しをもって学習に取り組めるようになっています。また、先ほどもお伝えしましたが「教育出版」で扱われる楽曲は3年生以上で十六分音符（休符）が含まれており、難易度が高く、段階をおった知識理解を押さえるうえで、難しさを感じられました。こうした点からも「教育芸術社」が選ばれました。

教育長

音楽については、以上とさせていただきます。

それでは、令和6年度使用教科用図書 音楽の選定について、「教育芸術社」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「図画・工作」の説明をお願いします。

学校教育課参事

図画・工作につきまして、58ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「開隆堂出版」です。

この教科書の特徴は、学習のめあてがどの単元も同じ場所に示されていてわかりやすく、観点別のキャラクターもかわいく楽しいものとなっています。題材名も楽しく、題材の焦点が絞られていて児童が作品のイメージをもちやすいと思われれます。その反面、イメージを広げるには不向きであると考えられます。作成過程の写真が少なく、児童にとって学習の見通しが持ちにくいと思われれます。また、後片付けの方法が、各ページに具体的に書かれており、写真と簡単な説明もつけられているのが特徴です。

次に、「日本文教出版」です。

この教科書の特徴は、構成がすっきりしていて、児童にとって説明がわかりやすく見やすいところです。また、制作過程や試行錯誤の写真が多くあり、吹き出しなどで、思考の部分を取り上げています。そのため、児童が表したいことについて発想を構想するヒントになりやすいと思われれます。はさみやのりなど用具の使い方が詳しく説明されており、多くの用具が取り上げられています。デジタルコンテンツには、授業で活用したい動画を選びやすく、見せやすい構成になっています。

調査をもとに協議した結果、図画・工作は「日本文教出版」に決定しました。

「日本文教出版」については、先ほどの話に加え、新しく出てくる用具について、使い方などを見開きで扱うなど、学習指導要領で重要視されている共通事項について、適切に記載されています。高学年の教科書には滋賀県甲賀市にある「やまなみ工房のアーティスト」が掲載されており、美術・芸術が身近なものに感じられることも評価されています。

教育長

では、「図画・工作」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

内記委員

道具の使い方や安全面は、とても大切な視点ですが、どのように評価されたのでしょうか。

学校教育課参事

どちらの出版社も、危険な場面を予測し、安全を呼びかけるマークで表示しております。

しかし、開隆堂出版については、一部使い方が掲載されていない用具があり、高学年の糸鋸の使用では使い方の説明が少ないところが指摘されておりました。日本文教出版は、教科書の最後に材料や用具の取り扱いがまとめられており、児童にとってもわかりやすいと思われます、特に、版画の進め方が丁寧でわかりやすいと評価されておりました。

#### 教育長

図画・工作については、以上とさせていただきます。

それでは、令和6年度使用教科用図書 図画・工作の選定について、「日本文教出版」でご異議はございませんか。

#### 全委員

異議なし

#### 教育長

それでは、続いて「家庭」の説明をお願いします。

#### 学校教育課参事

家庭につきまして、62ページからをご覧ください。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

この教科書の特徴は、5年生の8題材、6年生の7題材を通し番号で示しており、2年間を見通した題材構成となっております。また、題材のはじめに「学習の流れ」が示されており、「話し合おう」「やってみよう」「調べよう」など、問いかけが多く、子どもたちの主体的な学びにつながる工夫がされていました。調理や作業をしている手を実物大の写真で掲載しており、自分の手を重ねて確認できるようになっていました。食材の切り方や手縫いの作業が順をおってわかりやすく写真や図で示されていました。ただ、デジタルコンテンツについては、「トライシート」や「食品図鑑」など、活用できるものも多くありましたが、二次元コードで読み取る動画は、必要なところだけを取り出すことができないので、使用しにくいとの意見が多くあがったようです。

次に、「開隆堂出版」です。

この教科書の特徴は、5年生の学習を発展させて6年生の学習に向かうような題材構成になっており、学習する時期や季節に応じた配列になっています。家庭科は生活と結び付けて考える場面が多くありますので、その時期や季節に合わせやすい面は評価されておりました。また題材のはじめに「学習のめあて」が家庭科の4つの視点とともに明確に示されており、子どもたち自ら課題意識をもって取り組めるよう工夫されていました。また、製作や調理の手順が横一列に写真やイラストで提示されていたり、文字や色で強調されていたりするので、わかりやすく見通しをもって取り組めると思われます。デジタルコンテンツも二次元コード

で読み取る動画が細かく分かれており、大事なところだけを見せるなどポイントを絞って活用ができます。また、ワークシートがシンプルで使い方の幅が広く、共有しやすいとの意見もありました。

調査をもとに協議した結果、家庭は「開隆堂出版」に決定しました。

「開隆堂出版」の教科書は、持続可能な社会の実現に向けて、私たちに何ができるかをまとめる学習を2年間の家庭科の最後の学びに位置付けていることも、子どもたちの思考や実践の流れに有効に働くと予想されます。

教育長

では、「家庭」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

田中教育長職務代理者

家庭科では、調理や裁縫などの活動が子どもたちの楽しみでもあると思いますが、どのような点が配慮がされているのですか。

学校教育課参事

東京書籍の実物大の見本写真もわかりやすいのですが、一連の手順が示されている開隆堂出版の方が、見通しをもって取り組めるために評価されました。また、開隆堂出版のデジタルコンテンツは、動画が細かく手順ごとに分割されているので、ポイントを絞って見せることができたり、再生スピードを調整できたりするため、子どもたちの助けになると思われます。

教育長

それでは、家庭については、以上とさせていただきます。

それでは、令和6年度使用教科用図書 家庭の選定について、「開隆堂出版」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「保健」の説明をお願いします。

学校教育課参事

保健につきましては、66ページからとなっています。

それでは、各社の特徴について、調査した結果を報告させていただきます。

まず、「東京書籍」です。

毎時間ごとに、1 ページにわたる資料にて、一目で学習課題がつかめる工夫がされています。イラストを交えて順序立てているなど、一目で内容が分かりやすく理解が深まる構成となっています。

次に、大日本図書です。

「つかもう」で自分の生活をふり返った後、「ここで学ぶこと」で学習のめあてと言葉の説明で課題をもちやすい構成です。単元毎に動画1つ、まとめ問題が1つ掲載されて、児童の興味・関心を高め、ふり返りを簡単に行うことができます。

続いて、大修館書店です。

学習のふり返りでは、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるように、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる課題を設定していることが特徴的です。

次に、文教社です。

すべての単元の終末にある「わたしの〇〇せん言」では、友だちからのコメント欄を設けておりより意欲的に自分の課題に取り組むことができるように工夫されています。

続きまして、光文書院です。

概ね1単元が見開き2ページになっており、活用しやすい構成となっています。学習の流れや情報が捉えやすくなるようフォントや色使い、書体や改行、文章中の太字など、読解しやすいような工夫が見られます。

最後に、G a k k e nです。

毎時間、最後の学習「ほけんのはこ」では、関連したスキルや知識を学ぶために、資料が分かりやすく掲載されています。また、問いが工夫されており、対話的な学習になるように促しています。

調査をもとに協議した結果、保健は「東京書籍」に決定しました。

東京書籍の教科用図書は、先ほど話したことに加え、児童の生活場面から発問を工夫するなど、じっくり考えることで主体的に学習できる素地を作ろうとしていたり、他学年、他教科とのつながりが分かるように明記されていたりしています。

また、どの単元にも動画・資料・ワークシート・ふり返りカードなどの様々なコンテンツが用意されており、深い学びにつながると考えられるなどの特徴があったことなども申し添えます。

教育長

では、「保健」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

太田委員

保健や安全にかかわり、子どもたちが自分事として問題を捉えやすいように工夫されている点では、東京書籍はどうでしょうか。

学校教育課参事

東京書籍は、子どもたちの生活場面から発問を工夫するなど、主体的に学習できるよう工夫されています。また、子どもたちが課題を捉えやすく、学習の見通しをもちやすい構成という面でも東京書籍が評価されました。

教育長

他にご質問等はございませんか？

それでは、令和6年度使用教科用図書 保健の選定について、「東京書籍」でご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「英語」の説明をお願いします。

学校教育課参事

英語につきましては、74ページからをご覧ください。

まず、各社の特徴的な研究結果を申しあげ、その後、採択候補となるべき教科書をあげさせていただきます。

「東京書籍」は、単元の最初に明確なゴールが示されており、達成に向けたスモールステップが設定されているので、主体的に学習しやすくなっています。また、紙面は見やすく、支援が必要な児童にも配慮があります。

その一方で、読む活動については、学年を追って段階的にはなっているものの、あまり工夫を感じられず、また、量も少なく感じました。また、デジタル教材が使いづらい点も感じました。

「開隆堂」は、Chant や Song の数、種類が豊富で、英語のリズムがつかみやすくなっています。また、場面設定に無理がなく、活動の意図が分かりやすく書かれており、児童がめあてをもって活動しやすい内容です。

しかし、問題文の文字数が多く、また文字サイズも大きく太いため、少し圧迫感があり見にくいと感じました。

続きまして、「三省堂」です。

5年生は音声中心の学習から始まり、6年生では少しずつ読む活動や書く活動と段階的に学習できるようになっています。また、ゴールの言語活動に向けて、言語活動を積み上げていく構成になっているのが特徴的です。

一方、Panorama のイラストが1場面しかなく、リスニングでも静止画しかないので、聞かせる工夫が必要な構成であるように感じました。

「教育出版」は、やりとりや発表の量は少ないが、友だちと楽しくコミュニケーションをとれる内容になっています。また、単元の冒頭にその単元のゴールが書いてあるので、見通しをもって学習ができるものです。

しかし、全体的に言語活動数が少なく、Small talk の活動が掲載されていないことが気になりました。

「光村図書」は、各単元が、段階的に言語活動を繰り返し、「話すこと（発表）」「書くこと」につながる構成になっています。

各単元の導入に学習内容が明示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるように思います。

教科書に書き込む活動が少ないものの、ワークシートのダウンロードや教師の工夫で解消できるものとなっています。

最後に「啓林館」です。

各単元末の look back は視点が明確であり、自分の学習定着度がわかりやすくなっています。

しかし、5年生の序盤に色々な教科や頻度、日課を表す語が扱われていたり、6年生で多量の過去形を扱ったりするなど、英語に苦手意識のある児童には負荷のかかる言語設定が見受けられました。また、5年生では単語や一文を書く程度で量が少ないのですが、6年生の初めに3~4文程度といきなり書く量が増えることが気になりました。

児童にとって、外国語活動・英語科では、まずは、言葉を大切に感じ、日本語とは違う外国語の音声に気づき、慣れ親しみ、「外国語を通して」「身近な材料や話題」を元に、児童自ら「思考し」、状況や環境を理解した上で、「目の前の相手や他者とのコミュニケーション」を図ることが求められます。

さらに、それらの獲得した知識やスキルをどのように「役立てる」かが大切になります。こうした観点で見ると、どの出版社も他社に比べて突出させた特徴を組み込み、それぞれの特徴を生かせば、児童の学びの楽しさや意欲につながります。

しかし、総合的に全ての観点で判断したときに、光村図書のものが、オールマイティで、バランスがとれているということから、最も適切であると結論づけました。

教育長

では、「英語」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

朽木委員

6年生くらいになると英語で「書く」活動が入ってきますが、その点では光村図書の教科書は評価されていますか。

#### 学校教育課参事

はい。光村図書の教科書では、書く活動で使う欄に書き始めの単語やポイントが書かれており、子どもたちにとってはわかりやすいと思われます。また、子どもたちに無理なく「書く」活動に慣れさせるため、段階を追った工夫と適切な「書く」量が設定されています。デジタルコンテンツにも、書き込みや打ち込みができるようになっています。

#### 太田委員

デジタルコンテンツには、音声教材も含まれると思いますが、子どもたちの理解の助けになり、使いやすいものになっているのですか。

#### 学校教育課参事

各社、様々なデジタルコンテンツが用意されていますが、決定している光村図書のデジタルコンテンツは、再生のスピードを選ぶことができ、子どもたちの理解度に合わせて再生できます。また、言語活動のモデル動画には、話し方の例だけでなく、聞き手の反応例も示されており、言語活動の活性化に役立つコンテンツになっております。

#### 教育長

英語については、以上とさせていただきます。  
それでは、令和6年度使用教科用図書 英語の選定について、「光村図書」でご異議はございませんか。

#### 全委員

異議なし

#### 教育長

それでは、続いて「特別の教科 道徳」の説明をお願いします。

#### 学校教育課参事

特別の教科 道徳につきましては、85ページからをご覧ください。  
調査については、86ページにある調査研究の観点だけでなく、指導のあり方も含めた協議を行いました。

それでは、各社の主な特長を述べさせていただきます。90ページから92ページの調査研究結果をご覧ください。

「東京書籍」は、現代的課題が5つのユニットで構成され、コラム数、詩や歌なども幅広く取り上げています。また、イラストにはジェンダーレスの視点から描かれていることにも目がとまりました。教材文のはじめに内容に関する問いかけがなく、授業者の学習展開に自由度がもてる構成となっています。



「教育出版」は、各学年の発達段階に合わせて3つから5つのユニットでテーマを設定しています。教材については、他教科と関連が図れるものが多く、さらにはマンガ式の教材があったり、イラストを用いたりして学ぶ教材もあり、興味を持って学習ができるような工夫が見られます。

「光村図書」は、現代的な課題については、教材とコラムを組み合わせたもので、低学年は2つの、他の学年は4つのユニットとして編集されています。このユニットを通して、発展的な学習活動を展開させながら、多面的・多角的な道徳科の学習が深められるようになっています。

「日本文教出版」は、「いじめの防止」が最も重要なテーマとして位置づけられています。また、他教科との関連で学習がしやすい教材が多く配置されています。さし絵のわかりやすさや登場人物の明記を含め発達段階に即した学習活動への配慮があります。

「光文書院」は、発達段階に応じて、顔、吹き出し、矢印、心情円、スケール等様々な思考ツールが掲載され、考える場面が多く多様な学習活動ができるようになっています。また、現代社会の情勢にあわせて、SDGsの話題が多く取り上げられており、わかりやすく学習ができるように工夫されています。

「Gakken」は、イラストや挿絵、写真などが大きく取り入れられ、色使いもやさしく見やすくなっています。現代的諸課題が適切に含まれており、特に「いのち」や「情報モラル」をテーマにしたものを多く取り上げています。情報モラルを扱う教材では、低学年から発達年齢に応じた内容で取り扱い、身近な問題として考えられるようになっています。

各社とも、年間を通して教材配列に工夫をし、教材に関連する情報を提供する努力がなされ、多様な学習活動が促されております。また、一人一台端末を有効に活用することで学習の深まりや広がり期待できます。そのためのデジタルコンテンツの充実、QRコードの活用が児童にとって使いやすく、わかりやすいものとなっていることが各社の努力として大いに感じ取ることができました。

各社とも特色ある構成となっていますが、協議の結果、中でも「日本文教出版」のものが、児童が学習時間中に、道徳的価値にかかわって、多様な視点から考えが表出でき、対話や議論が活発に行えたり、自己を振り返ることや新たな気づきや変容を促したりできるという結論に達しました。

また、自分の考えを書いたり、学習や自己を振り返ったりすることができる道徳ノートがついていることも、児童の実態に即した学習展開が期待できるのではないかと考えました。

以上のことから、「日本文教出版」発行の教科用図書が最も適切であるという結果になりました。

教育長

では、「特別の教科道徳」の調査結果について質疑を受けたいと思います。

#### 内記委員

今回、選ばれた「日本文教出版」の教科書には、道徳ノートがついているとのことでしたが、そうしたワークがついている方がよいのですか。

#### 学校教育課参事

道徳科の学習では、道徳的価値にかかわって、多様な視点から考えが表出し、対話や議論が活発に行えたり、自己を振り返ることや新たな気づきや変容を促したりできることが求められます。教材に即した道徳ノートがあることで、子どもたちが学習の振り返りを確実に行うことができ、学びを深めることができます。今回、選ばれた「日本文教出版」の道徳ノートには、学習したことが自分事としてつながるように記述欄の工夫がなされているのも評価が高かったところです。

#### 朽木委員

「日本文教出版」は、「いじめの防止」が重要なテーマとして位置づけられていると説明されましたが、取り上げている話題には、ほかにも特徴がありますか。

#### 学校教育課参事

滋賀県に関する教材が他社より多いのも特徴の一つです。5年生では、琵琶湖フローティングスクールも取り上げられております。子どもたちが、ふるさとへの愛着と誇りを感じることができると思います。

#### 教育長

特別の教科 道徳についての質疑は、以上でよろしいでしょうか。  
それでは、令和6年度使用教科用図書 道徳の選定について、「日本文教出版」でご異議はございませんか。

#### 全委員

異議なし

#### 教育長

それでは、続いて「小学校特別支援学級」の説明をお願いします。

#### 学校教育課参事

続きまして、小学校特別支援学級です。93ページからをご覧ください。

昨年度採択されていた図書の内2冊が供給不能になりましたので、一般図書から補充する図書の選定を中心に行いました。なお、2冊の内訳は、社会科1冊、外国語科1冊です。

特別支援教育においては、児童の十分な学びを確保し、一人ひとりの児童の障害や発達に

応じた指導や支援を一層充実させていく必要があります。当採択地区内における知的障害学級に在籍する児童の障害の程度は様々であり、支援の内容もたきにわたっていることから、これらの児童に可能な限り対応できることを念頭に、選定作業を行うこととしました。

続いて95ページをご覧ください。

弱視学級の「調査した教科用図書の範囲」についてですが、児童の障害の程度、発達の段階、能力に応じた教科用図書が使用できるように検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書を選定対象としました。

選定理由については、弱視学級児童の障害の内容や程度も様々であり、何より、「読むこと」への障害が大きいことから、これらの児童に可能な限り対応できるように配慮しました。知的障害をともなわない特別支援学級児童の教科用図書については、通常学級用に採択された当該学年の教科用図書の使用を基本としますが、障害の種別、特性、能力に応じた教科用図書が使用できるものとしています。また、弱視学級以外の学級に在籍はしているけれど、弱視を重複する児童の教科用図書については、教育内容、教育方法の中心が弱視教育となることから、弱視学級用の教科用図書に準じるものとしています。

次に96ページをご覧ください。

該当2教科の調査研究観点として、各5点をあげました。これらは、2023年度作成の県教育委員会の小学校特別支援学級・知的障害における教科用図書調査研究観点の各教科・種目に共通する具体的観点①～③と、各教科の具体的観点④⑤、および第二採択地区共通観点より作成しました。社会科、外国語科の内容は、それぞれに記載しているとおりでございます。

次に99ページに記載されている弱視学級の調査研究観点は、知的学級の観点と同じで、5つ目の観点到、「資料の適切な拡大等」を加えたものになっております。

次に102ページ「調査研究結果（知的障害学級）」をご覧ください。

滋賀県教育委員会の「選定に必要な資料」に掲載されている一般図書の一覧表を参考にして、候補となる図書について収集・絞り込み・協議を行った結果、後ほど説明いたします2教科2冊の図書を推薦することといたしました。

105ページの弱視学級につきましては、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書としました。

次に106ページ「学年別使用のめやす」をご覧ください。

今回推薦いたします図書を使用する学年のめやすは、次のとおりです。

まず、社会科は、歴史にかかる図書ですので、6年といたしました。そして、外国語科は5・6年といたしました。

弱視学級の「使用のめやす」につきましては、検定教科書と同一内容の文字等を拡大した拡大教科書としました。

最後に、選定しました本について説明させていただきます。

111ページをご覧ください。

社会科は、「はじめての日本れきしえほん」です。

知的学級の児童については、交流学級で社会科を学ぶ児童も多いですが、この図書は特別支援学級で社会科を学ぶためのものとして選定しました。家、服、食べ物、暮らしなど、児童にとって比べて考えやすい内容が、絵で描かれており、初めて歴史を学ぶにあたって、それぞれの時代がイメージしやすい構成となっています。

時代ごとに特徴的な道具や、人々の暮らしなどについての解説も、拡大した絵と簡単な言葉で示されており、興味をもって学習に取り組むことができる工夫が見られます。

時代ごとに人々の暮らしの変化が一目でわかるようになっており、児童が楽しく学べる図書です。

続きまして、外国語科は

「CDつき 楽しく歌える英語のうた」です。

知的学級で外国語を学ぶにあたっては、視覚や聴覚、身体全体を使って楽しく学ぶことが子どもたちにとって大切であると考えます。また、音楽のリズムに合わせて踊ったり、楽しく歌ったりしながら、自然に外国語を覚え身につけていく指導が有効であると考えます。この図書は、歌の世界をイメージしやすいイラストと共に、英語と日本語がわかりやすく記述されており、CDつきで、リズムに合わせて、身体全体で学べる工夫もされています。これまで耳にしたことのある曲や、手遊び、身体表現、ペアや集団で動作化しながら学べる工夫もされており、知的学級の児童にとって楽しく学べる図書です。以上でございます。

教育長

では、小学校特別支援学級の一般図書の調査結果について質問を受けたいと思います。

実際は、子どもたちの発達段階に応じて、あるいは障がいの程度に応じて、様々に教材・教具を工夫して指導してくれていますので、基本的には報告をいただいたとおりでいいかなと思っておりますが、ご質問、ご意見をいただきたいと思います。

田中教育長職務代理者

英語のうたは、CD付きで子どもたちが喜んで学べるのではないかと思います。

教育長

他にご質問、ご意見等はございませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 小学校特別支援学級の一般図書の選定について、ご異議はございませんか。

全委員

異議なし

教育長

それでは、続いて「中学校特別支援学級」の説明をお願いします。

## 学校教育課参事

それでは、中学校特別支援学級中学校の説明をさせていただきます。

113ページからをご覧ください。

調査委員会では、中学校特別支援学級の教科用図書の採択について、知的障害学級の一般図書において、多様な障害の程度に合わせて選択の幅が広がるように追加することとし、検討しました。

はじめに、令和5年度中学校特別支援学級一般図書の確認を行い、令和6年度供給不能になる図書の内容確認を行いました。

そして、供給不能になる図書の補充を行うために、令和6年度使用教科用図書調査研究観点（知的障害学級）について協議を行い、観点到照らし合わせながら、各調査員が勤務している学校での教育課程や生徒の実態も考慮しつつ、令和5年度用一般図書契約予定一覧より、令和6年度一般図書補充本選定作業行いました。

該当2教科の「調査研究観点」、「学年別使用のめやす」につきましては、資料の通りでございます。

続きまして、120ページ「調査研究結果（知的障害学級）」をご覧ください。調査委員会で協議を行った結果、2教科3冊の図書を推薦することといたしました。

それでは、選定しました本について説明させていただきます。

129ページをご覧ください。

社会科については、まず一冊目として、『楽しく学んで力がつく！ こども世界地図』を選定いたしました。

この図書は、単なる地図帳とは違い、世界を地球という視点からまとめていて、幅広い知識がテーマ別に掲載されています。写真が多く、国別の特徴が端的にまとめられているので、異なる発達年齢の子どもたちが学べる充実の内容になっています。

また、地図の見方や時差について一目でわかるように図示されています。小見出しを多く設け、言語や文字、あいさつについて説明するなど、子どもの興味を引く工夫がなされています。

社会科の二冊目は、『はじめての日本のれきしえほん』です。

この本は、日本の歴史の移り変わりを、イラストと短い文章で表したものになっています。歴史の大きな流れをつかみ、現代の生活につなげたり、これからの未来について考えを巡らせたりするのにふさわしい内容となっており、歴史という抽象的な内容の学習を、イラストで具体的にわかりやすく表現しています。特別支援学級の生徒が学ぶのに効果的であると思われる。

続きまして、中学校理科は、『科学のなぜ？ 新図鑑』を選定いたしました。

この本は、生徒が興味を持った「なぜ」を核としながら、知りたい項目をもとに、5つの分野から発達や理解度に応じて読み進めることができる構成となっています。また、図や写真を多く使って、科学の大切な知識や考え方が、ひとめでわかりやすいものとなっています。

身近に感じた疑問を、理科的視点につなげていくことに効果的であると考えます。  
掲載されている「なぜ？」は、日常的な疑問が集められたもので、幅広い発達段階の生徒の知的好奇心にせまる内容で構成されています。また、何気なくページをめくったときにでも、目をひくような工夫がされており、生活に身近なことがらに関する内容が取り入れられていることで、印象に残りやすくなっています。以上でございます。

教育長

では、中学校特別支援学級の一般図書の調査結果について質疑を受けたいと思います。

内記委員

発達段階が違うと思いますが、小学校と中学校の社会科で同じ図書が選定されていますが、同じでよいのでしょうか。

学校教育課参事

この本は、特別支援学級の幅広い発達段階にある生徒の指導に適した図書であり、中学校においては、過去、現在と将来につなげる学習に活用できるものですので、小中学校同じ図書の選定でも問題はないと考えております。

教育長

他にご質問等はありませんか。

それでは、令和6年度使用教科用図書 中学校特別支援学級の一般図書の選定について、ご異議はありませんか。

全委員

異議なし

教育長

これですべての種目について説明が終了いたしました。

それでは、議案第8号「令和6年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて」お諮りします。

令和5年7月31日ならびに8月3日に開催された、教科用図書第二採択地区協議会における選定結果に基づき、令和6年度の栗東市立各小中学校使用教科用図書を採択することに異議ございませんか。

全委員

異議なし

教育長

異議なしと認め、議案第8号令和6年度使用教科用図書採択について承認されました。  
以上で令和5年8月度栗東市教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会宣言 16 : 45